

検討事項（案）

1. 大学病院の在り方について

- 大学医学部及び大学病院の現状を踏まえ、医学教育・研究を維持・発展させるために必要な環境整備はどうあるべきか。
- 大学病院の教育・研究機能や所在する地域の医療提供体制等を踏まえ、大学病院として求められる役割・機能をどう考えるか。その役割・機能を発揮するために必要な方策は何か。
- 医師の働き方改革を踏まえ、研究時間が著しく短い若手医師をはじめとした大学病院で勤務する医師の研究時間をどのように確保すべきか。また教育・研究機能を維持するためにどのような方策が考えられるか。
- 医師が中核業務に傾注できる環境の構築に向けて、ICTや医療DX等を活用した業務の効率化や、医師以外の関係職種に対するタスク・シフト/シェアを進めるために、例えば特定行為看護師や研究教育支援人材等の確保等についてどのような方策が考えられるか。
- 大学病院の経営改善、財源確保はどうあるべきか。民間病院等と比較してどのような改善が考えられるか。

2. 学部及び大学院における医学教育の在り方について

- 学部及び大学院における医学教育・研究の充実のためにどのような方策が考えられるか。
- 医学研究者のキャリアパスの特性を踏まえ、研究医養成のためにどのような支援が考えられるか。
- 博士課程進学者の増加及び博士号取得者の拡大に向けて、どのような方策が考えられるか。特に卒後研修との関係において、どのような改善が考えられるか。
- 大学医学部における医師養成の在り方について、恒久定員内への地域枠の設置促進や地元出身者枠の拡大が検討されているが、地域枠制度においてどのような改善が考えられるか。
- 教育・研究におけるDXをどのように推進していくべきか。

大学病院改革のイメージ

- 働き改革の推進等により大学等教員の中で研究・教育にかける時間の割合が最も少ない保健分野（特に医学分野）の教員（医師）の研究・教育時間が益々減少する恐れ。
- 診療時間等の効率化や研究・教育支援体制の強化に加え、博士号の魅力向上や大学病院で勤務する教員（医師）の適正な処遇により、地域医療提供体制を確保しつつ、我が国の医学・医療の発展を支える大学病院の医学研究・教育を充実・強化する。

